

で暮らそう

～ 子どものびのび みんないきいき ～

河南町まちづくり戦略(総合戦略) (素案)

平成27年12月

河 南 町

【 目 次 】

- I. 「住みたいまち、住み続けたいまち」を目指して
 - 1. はじめに
 - 2. 将来イメージと人口ビジョン・総合戦略

- II. 戦略の全体像と施策の柱
 - 1. 戦略の基本的考え方
 - 2. 地方創生に向けた課題と施策体系
 - 3. 総合戦略の全体像
 - (1) 「子ども のびのび」かなん
 - (2) 「元気 もりもり」かなん
 - (3) 「笑顔 いきいき」かなん
 - (4) 「都会 きらきら」かなん
 - (5) 「田舎 わくわく」かなん
 - (6) 「ときどき 発信」かなん

I. 「住みたいまち、住み続けたいまち」を目指して

1. はじめに

<今ある河南町の良さ>

- 河南町は大都市ほど人々のつながりが希薄になっておらず、豊かな自然や農業環境とともに、大都市に近接しながらも田舎の豊かさを持ち合わせています。
- 河南町ではこれまで子育て支援に力を入れ、保育園の増設や多子世帯への支援の充実、医療費等の支援充実、さらに英語教育等の特色ある教育と学力充実に努めてきました。
- また、公共施設の耐震化など安全・安心のまちづくり、町全体の生活環境充実のため下水道整備などのインフラ整備にも力を注いできました。

<活用・充実強化が必要な課題>

- 町内に立地している大阪芸術大学との連携の必要性や、「道の駅かなん」を中心に地域資源・地域魅力の発信の取り組みはあるものの、自然環境や農業環境を含めて恵まれた地域資源のさらなる活用などが必要です。
- 高齢化社会が進む中で、一層の福祉の充実や、地域公共交通の充実が望まれるとともに、空き家の利活用や公共施設の効率的運営等の新たな課題への対応が求められています。
- 河南町の「住みやすさ」と観光の魅力を幅広く発信し、広域連携による交流促進を進めていくことも必要です。

<総合戦略策定の意義>

- 日本創成会議・人口減少問題検討分科会で「消滅可能性都市」について提言がなされ、国でも人口減少・地域経済縮小を克服するため「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と「まち・ひと・しごと総合戦略」が閣議決定されました。
- これらを踏まえ、河南町の人口を分析し、人口減少問題に関する住民の認識の共有、平成72(2060)年までの将来の方向と人口の展望を示すものとして「河南町人口ビジョン」を策定するとともに、河南町の自立的・持続可能なまちづくりを進めるため「河南町総合戦略」を策定します。

2. 将来イメージと人口ビジョン・総合戦略

河南町の将来イメージ

住みたいまち・住み続けたいまち

都会の
良さ

+

田舎の
良さ

=

ト	カ	イ	
		ナ	
	カ	ナ	ン

で暮らそう
～子どものびのび みんないきいき～

河南町ひとづくりビジョン(人口ビジョン)

平成72(2060)年に 17,000人

- 子育て・教育等の総合的な支援の充実により、若い世代が魅力を感じる河南町をつくり、出生数の増加を目指す。
- すべての人の生活の場を整え、人口の流出を抑制する。
- 暮らしやすさ、環境、仕事等の地域魅力を発信し、活発な地域間・世代間交流やI・J・Uターンを促す。

河南町まちづくり戦略(総合戦略)

平成72(2060)年のまちのビジョン

- 笑顔の子どもがいるまち
- 多世代が暮らすまち
- 農・商・工業などが盛んで活力のあるまち
- 安全・安心のまち
- 高速道路と駅がある快適なまち
- 自然、文化を発信する観光のまち

<河南町ひとづくりビジョン(人口ビジョン)>

平成72(2060)年に 17,000人

【合計特殊出生率】

○平成42(2030)年に1.8、平成52(2040)年に2.07に向上

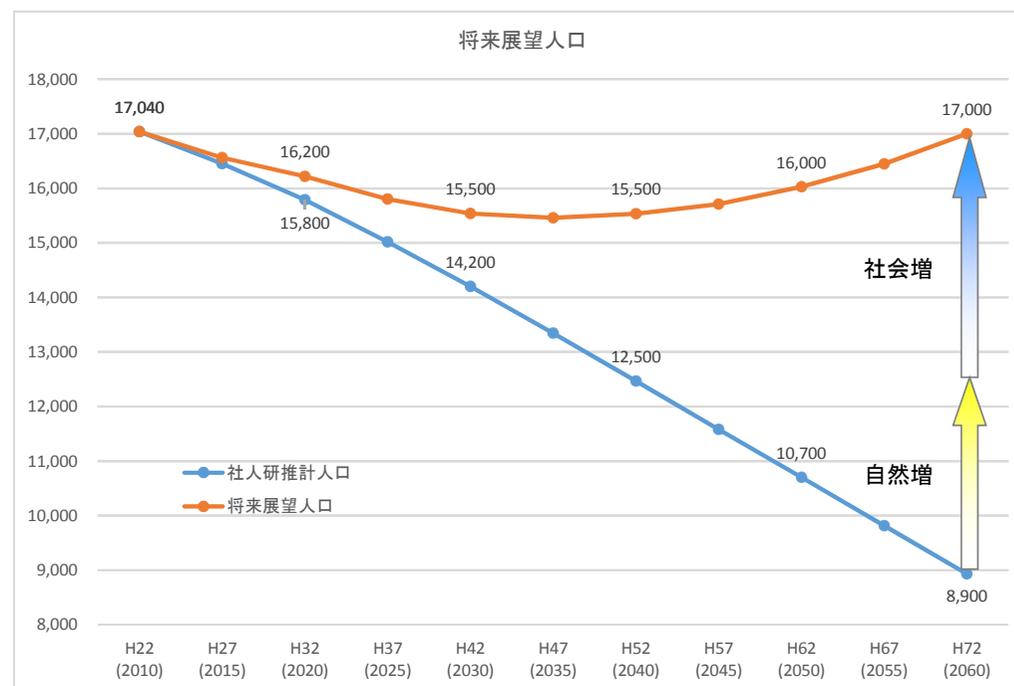
【人口の定着】

○社会増を平成37(2025)年に年35人程度、その後徐々に増やし、平成52(2040)年に年120人程度、平成72(2060)年には年180人程度に増やす。

<取組の方向性>

住みたいまち、住み続けたいまちを目指して

- ◇子育て・教育等の総合的な支援の充実により、若い世代が魅力を感じる河南町をつくり、出生数の増加を目指す。
- ◇すべての人の生活の場を整え、人口の流出を抑制する。
- ◇暮らしやすさ、環境、仕事等の地域魅力を発信し、活発な地域間・世代間交流やI・J・Uターンを促す。



<河南町まちづくり戦略(総合戦略)>

平成72(2060)年のまちのビジョン

○笑顔の子どもがいるまち

子育て環境の創出(妊婦、乳児、幼児へのサポート) 保育・教育の連携強化(認定こども園、幼児教育施設の再編など) 幼児教育・保育の完全無料化 0歳児からの教育
義務教育の新たな枠組み確立(小学校の再編整備、小中一貫教育の推進など)

○多世代が暮らすまち

二世帯・三世帯など多世帯が暮らせる制度確立 地域の絆で支えるまちづくり 健康づくりの推進
子ども・高齢者・障がい者のケア

○農・商・工業などが盛んで活力のあるまち

企業誘致 新しい産業の促進 農業の6次産業化 地域ブランドの開発

○安全・安心のまち

防災・減災対策 防犯対策 セーフティネット(社会保障の充実)

○高速道路と駅がある快適なまち

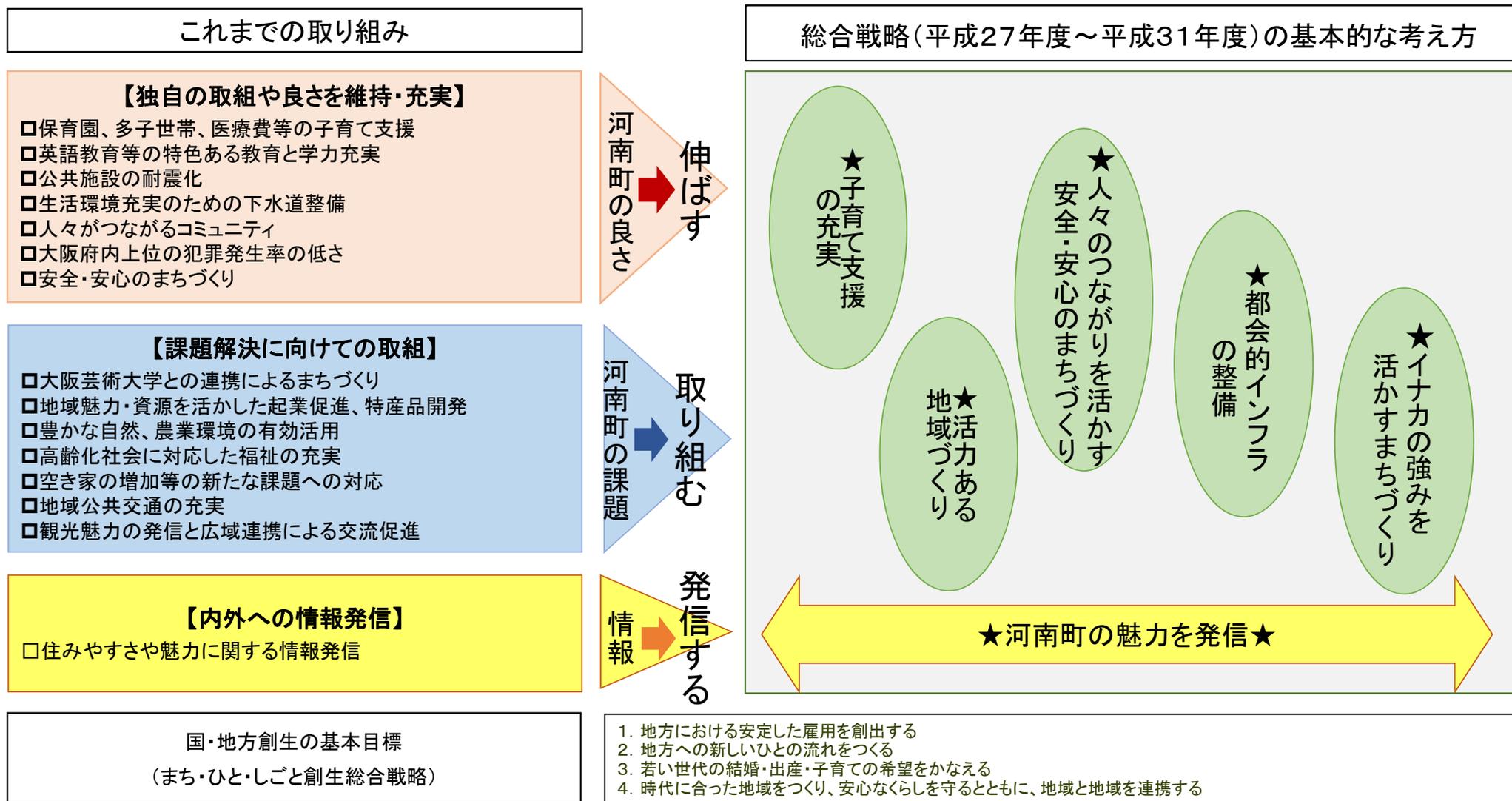
道路・鉄道などのインフラ整備促進(高速道路、幹線道路、鉄軌道など) 地域公共交通の充実
生活環境の充実(生活道路、公園、下水道など) 公共施設の再編

○自然、文化を発信する観光のまち

地元産品を活用した都市住民との交流 観光での新たな産業の創出 美しいまちづくりの推進
産官学の連携(芸大、企業とのコラボ) 協働のまちづくり 芸術村

II. 戦略の全体像と施策の柱

1. 戦略の基本的考え方



2. 地方創生に向けた課題と施策体系

★子育て支援の充実

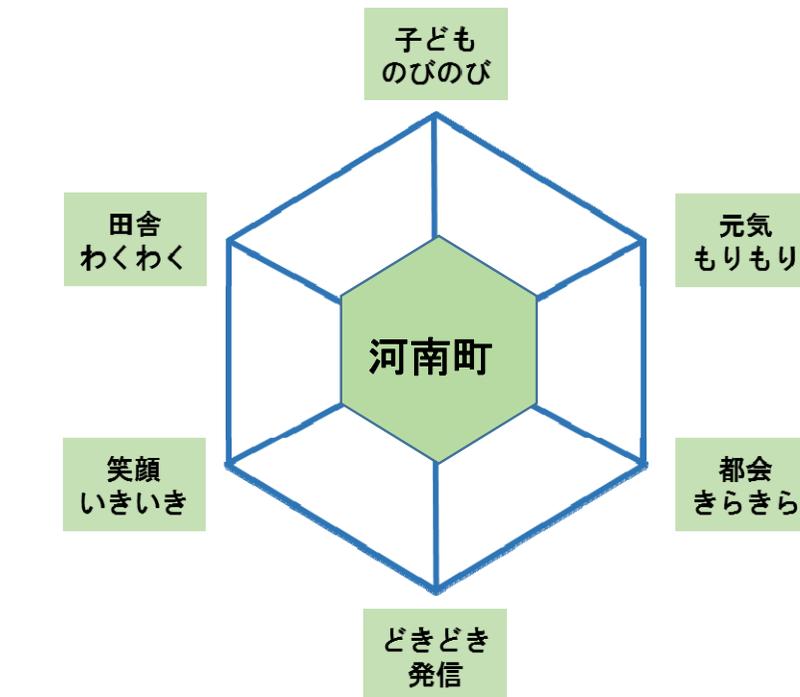
- ✓ 子育て世代が安心して子どもを産み育てることができるよう、子育て環境の整備が必要です。
- ✓ 結婚や出産を希望する若者への応援が必要です。

★イナカの強みを活かすまちづくり

- ✓ 観光資源としての美しい自然を守るとともに、地域資源として積極的に活用し、河南町特有の魅力とする取り組みが必要です。
- ✓ 優れた農業環境を活かし、交流人口を増やす取り組みが必要です。

★人々のつながりを活かす安全・安心のまちづくり

- ✓ 住み続けたい地域づくりのために、地域に残る豊かなコミュニティを活かす政策が必要です。
- ✓ 住んでいて良かったと実感され選ばれるまちとなるために、これまで取り組んできた安全・安心のまちづくりの充実が必要です。



★魅力を発信

- ✓ 河南町が住む町として選ばれるために、河南町の魅力を発掘し積極的に発信することが必要です。
- ✓ 魅力を発信するにあたり、道の駅やSNS等を通じた多様な世代の交流人口増加や、広域連携等が必要です。

★活力ある地域づくり

- ✓ 大学や観光拠点等の河南町固有の地域資源を活かした活力あるまちづくりが必要です。
- ✓ 企業誘致、起業促進、地域特色を活かした産品づくりの促進を図り、地域経済を活性化することが必要です。

★都会的インフラの整備

- ✓ 大都市近郊の利便性を活かすために、広域幹線道路整備や地域公共交通の充実に向けた長期的な取り組みが必要です。
- ✓ 公共施設等のストックを有効活用するとともに、情報化社会への対応が必要です。

3. 総合戦略の全体像

○計画期間：平成27年度から平成31年度までの5年間
 ○重要業績評価指標(KPI)とPDCAサイクルによって評価・改善を図る

<p>(1)「子ども のびのび」かなん</p>	<p>①「子育て環境 No.1」のまちづくり ●安心して子どもを産み育てることができるよう、河南町における保育・教育環境の質的・量的充実に努めます。</p> <p>②安心して結婚・出産ができる環境の整備 ●結婚や出産を希望する若者を応援します。</p>	<p>1 子育て支援の充実 2 教育環境の充実 3 いじめゼロなど、子どもを支える取り組み</p> <p>1 若者の婚姻を応援する取り組み 2 出産を応援する取り組み</p>
<p>(2)「元気 もりもり」かなん</p>	<p>①地域資源を活用した特色あるまちの魅力づくり ●大阪芸術大学や道の駅かなんをはじめとする地域資源を活用し、特産品の開発や町の魅力づくりを促進します。</p> <p>②産官学等との連携による持続可能なまちの元気づくり ●働く場づくりや地域経済の活性化を促進するため、産官学等の関係機関と連携を深めます。</p>	<p>1 大阪芸術大学との連携強化 2 観光拠点を中心とした町の魅力づくり 3 地域の特色発信に向けた製品づくり</p> <p>1 働く場づくりの促進</p>
<p>(3)「笑顔 いきいき」かなん</p>	<p>①人々がつながり、多様な世代が交流・活躍できる地域づくり ●多様な世代が活躍できるよう、働く場・生きがいつくりに取り組みとともに、まちづくりの主役である住民が輝ける協働のまちづくりを進めます。 ●若者や子育て世代をはじめとする多様な世代の移住及び多世代同居を促進します。</p> <p>②住み続けたいと思える安全・安心・安住のまちづくり ●住んでいてよかった・住み続けたいと思える「防災・防犯No.1」のまちをめざします。 ●保健・医療が充実し、安心して暮らせるまちづくりを進めます。</p>	<p>1 すべての人が輝ける働く場、集う場づくり 2 I・Uターンなどの移住促進 3 協働のまちづくりの推進</p> <p>1 防災・減災等の取組強化 2 保健・医療の充実</p>
<p>(4)「都会 きらきら」かなん</p>	<p>①大都市近郊の利便性と快適な都市整備基盤を備えたまちづくり ●大都市近郊としての利便性を最大限に活かすため、快適な道路等のインフラ整備や地域公共交通の充実を図ります。</p> <p>②効率的・機能的なまちづくりの推進 ●公共施設等の有効なストック活用を図ります。 ●マイナンバー制度が創設され、今後、一層進展することが予想される情報化社会に対応するため、行政情報システムの効率化を図ります。</p>	<p>1 交通網整備に向けた取組強化 2 都市的利便性の充実</p> <p>1 公共施設再編整備基本計画の着実な執行 2 情報化の推進による利便性の向上</p>
<p>(5)「田舎 わくわく」かなん</p>	<p>①自然の豊かさを実感し、訪れてよかった・住んでみたいと思えるまちづくり ●訪れた人々の心を和ませる美しい自然を守りつつ、地域資源として積極的に活用します。 ●優れた環境を活かし、農業体験や農産物を通じた観光の魅力づくりを促進します。</p> <p>②美しい景観を維持する自然調和型まちづくり ●金剛・葛城山系のみどり豊かな景観や田畑などの美しい田園風景を維持するため、自然環境に配慮したまちづくりを推進します。</p>	<p>1 桜の景観、自然を活かしたまちづくり 2 歴史ツアー、観光ルートの充実 3 自然を活かした魅力創出の促進 4 農の魅力を活かした交流促進</p> <p>1 地域魅力の創出に向けた景観整備 2 美しいまちと資源循環型社会の形成</p>
<p>(6)「ときどき 発信」かなん</p>	<p>①河南町の魅力を絶えず発信し、世界とつながるまちづくり ●多様なメディアを活用し、積極的にシティセールスに取り組みます。 ●道の駅かなんやSNSなどを通じた地域間・世代間交流を促進します。 ●観光などのジャンルで、広域的な連携のもと地域の魅力づくり・魅力発信に努めます。</p>	<p>1 民間のノウハウを活用した広報広聴充実 2 「河南町のカナちゃん」を活用した親しみやすい町のイメージ戦略 3 シティセールスや施策のPRの推進 4 魅力創出・発信による交流促進</p>

(1)「子ども のびのび」かなん

①「子育て環境 No.1」のまちづくり <全体像>

- 安心して子どもを産み育てることができるよう、河南町における保育・教育環境の質的・量的充実を努めます。

施策の柱と主たる取り組み	数値目標(※)
(1)-①-1 子育て支援の充実	出生率 0.84→1.56 子ども(15歳未満)の 転入者数 70人→77人
(1)-①-2 教育環境の充実	
(1)-①-3 いじめゼロなど、子どもを支える取り組み	

- 【保育環境の充実】
- 【特色ある子育て支援の推進】
- 【教育環境の整備】
- 【英語教育の推進】
- 【「学力No.1」の取り組み推進】
- 【子どもを守り、支える取り組みの推進】
- 【保護者の悩みに寄り添う取り組みの推進】

※特にことわりがなければ、「平成26年度→平成31年度」もしくは「平成26年→平成31年」の数値。

主たる取り組みの概要

KPI(※)

(1)-①-1 子育て支援の充実

【保育環境の充実】

- 認定こども園の整備や各種子育て施策を充実し、保育環境の向上を図ります。

(主要施策)

- 認定こども園の整備による様々な子育てニーズへの対応
- 子育てセンター等を通じた子育て支援事業の充実

【特色ある子育て支援の推進】

- 多子世帯等の経済的負担の軽減や子どもたちの健やかな体力を育む取り組み、放課後子ども教室等を通じた遊び・学習の場の提供など、特色ある子育て支援に取り組みます。

(主要施策)

- 多子世帯への積極的な支援
- 子ども医療費助成の拡充
- 児童の放課後活動への支援等の充実

□ 保育園待機児童数
0人→0人を維持

□ 多子世帯助成世帯数
0世帯→250世帯

※特にことわりがなければ、「平成26年度→平成31年度」もしくは「平成26年→平成31年」の数値。

主たる取り組みの概要

KPI

(1)-①-2 教育環境の充実

【教育環境の整備】

- 小学校の統廃合、小中一貫教育の検討など、少子化にともなう教育環境の整備に取り組みます。

(主要施策)

- 小中一貫教育の検討
- 小学校のエアコン設置等、学習環境の改善

【英語教育の推進】

- 国際化の進展に対応できるよう就学前児童から中学生まで幅広く、実践的かつ楽しく学べる英語教育を推進します。

(主要施策)

- 幼児期からの英語教育の推進
- 小学生・中学生を対象とするグローバル人材の育成

【「学力No.1」の取り組み推進】

- 放課後の空き教室等を活用して子どもたちの学ぶ意欲をサポートする取り組みや0歳児教育等の検討を進め、「学力No.1」と言えるような教育の充実を図ります。

(主要施策)

- 放課後子ども教室等を通じた学力向上のサポート
- 0歳児教育の推進

- 「学校に行くのが楽しい」と思う児童・生徒の割合

○%→●%

- 将来の夢や目標をもっている児童・生徒の割合

○%→●%

主たる取り組みの概要

KPI

(1)-①-3 いじめゼロなど、 子どもを支える 取り組み

【子どもを守り、支える取り組みの推進】

- スクールソーシャルワーカーの活用やCAP事業を通じて、支えを必要とする子どもたちのサポートを推進します。

(主要施策)

- スクールソーシャルワーカー等による子どもの心に寄り添う支援の推進
- 子どもへの暴力防止の取り組み推進

【保護者の悩みに寄り添う取り組みの推進】

- 臨床心理士等を活用し、子どもだけでなく悩める保護者の支えとなる取り組みを進めます。

(主要施策)

- 有資格者の発達相談員による施設や保護者への支援の充実
- 子どもの教育に関する相談事業の推進

- 学校生活で、友達関係など何か悩みを抱えたときに誰にも相談しなかった児童・生徒の割合

○% → ●%

- 自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じる割合

81.8%(H25)

→83.8%(H30)

②安心して結婚・出産ができる環境の整備 <全体像>

- 結婚や出産を希望する若者を応援します。

施策の柱と主たる取り組み

数値目標

(1)-②-1
若者の婚姻を応援する取り組み

【婚活支援の充実】
【新婚世帯支援の充実】

婚姻届出件数
62件 → 68件

(1)-②-2
出産を応援する取り組み

【妊娠・出産を支える取り組みの推進】
【出産後の母子を支える取り組みの推進】

出生数
63人 → 69人

主たる取り組みの概要

KPI

(1)-②-1

若者の婚姻を応援する取り組み

【婚活支援の充実】

- 婚活イベントの開催を支援するなど、結婚を希望する若者を応援します。

(主要施策)

- 地域に根ざした婚活イベントの開催支援

【新婚世帯支援の充実】

- 若者の結婚生活を応援するため、若年の新婚世帯への助成等を検討し、婚姻成立を促進します。

(主要施策)

- 若年の新婚世帯への助成等の検討

- 町が支援する婚活事業への参加者数

0人→100人

- 婚姻届出件数

62件→68件

主たる取り組みの概要

KPI

(1)-②-2 出産を応援する 取り組み

【妊娠・出産を支える取り組みの推進】

- 妊娠・出産の希望を応援するため、不妊治療助成や妊娠から育児まで切れ目なくケアマネジメントする拠点整備を検討します。

(主要施策)

- 不妊治療助成等による妊娠を応援する取り組みの検討
- 子育て世代包括支援センターの設置を検討

【出産後の母子を支える取り組みの推進】

- 母子保健事業の充実に努めるとともに、出産後の母子のニーズに応える助成制度を検討します。

(主要施策)

- 母子保健事業の充実
- 産後ヘルパー(家事補助)助成等の検討

□ 母子健康手帳の
交付数
90件 → 100件

□ 母子保健事業実
績
95.8% → 100%

(2)「元気 もりもり」かなん

①地域資源を活用した特色あるまちの魅力づくり <全体像>

- 大阪芸術大学や道の駅かなんをはじめとする地域資源を活用し、特産品の開発や町の魅力づくりを促進します。

施策の柱と主たる取り組み

数値目標

(2)-①-1
大阪芸術大学との連携強化

【包括協定の締結】
【芸術村づくりの検討】

(2)-①-2
観光拠点を中心とした町の魅力づくり

【道の駅かなんの活性化】
【近つ飛鳥博物館やダイヤモンドトレールなどの観光資源の活用】

(2)-①-3
地域の特色発信に向けた産品づくり

【6次産業化の促進】
【かなんブランドの推進】

休日の滞在人口率
(滞在人口)大阪府
内順位
46位/72市区町村
→23位

主たる取り組みの概要

KPI

(2)-①-1 大阪芸術大学と の連携強化

【包括協定の締結】

- 大阪芸術大学とは、ぷくぷくサンデーコンサート等の事業連携を行っていますが、保育教育、広報活動等のまちづくり全体の連携を強化するため、包括協定の締結に取り組みます。

(主要施策)

- 包括協定等による大阪芸術大学との連携促進

【芸術村づくりの検討】

- 大阪芸術大学が立地する「芸術のまち」として、学生がフィールドワークや制作活動をしやすい環境整備を検討します。

(主要施策)

- 大学周辺の学生街を中心とするまちの活性化促進
- 学生の制作活動支援の検討

- 大阪芸術大学との連携事業数
2件→10件

主たる取り組みの概要

KPI

(2)-①-2 観光拠点を中心 とした町の魅力 づくり

【道の駅かなんの活性化】

- 新鮮な野菜を求める都市住民で賑わう道の駅かなんの更なる活性化方策を検討します。

(主要施策)

- 飲食施設の併設や駐車場の拡大など、道の駅リニューアル構想の実現
- 観光情報を発信する拠点整備

【近つ飛鳥博物館やダイヤモンドトレールなどの観光資源の活用】

- 古墳時代に特化した特色ある近つ飛鳥博物館や多くの登山客が訪れるダイヤモンドトレール等を河南町の観光資源として活用します。

(主要施策)

- 近つ飛鳥博物館との共催事業等による交流人口の増加促進

□ 道の駅かなんの
販売額
3億4,783万円
→4億円

□ 道の駅かなんの
利用者数(レジ
通過者数)
306千人→358千人

□ 近つ飛鳥博物館
の来訪者数
108,060人
→120,000人

主たる取り組みの概要

KPI

2)-①-3 地域の特色発信 に向けた商品づくり

【6次産業化の促進】

- 豊かな自然と大都市近郊のロケーションを活かした地場産野菜・果物を加工・販売する6次産業化を促進し、産官学等との連携のもと、特色ある地域の商品づくりを応援します。

(主要施策)

- なにわの伝統野菜など、地場産野菜を使った商品づくりの支援
- イチジクやイチゴなどの特産品を活用したオリジナルスイーツ等の商品開発

【かなんブランドの推進】

- 町の特色を活かした商品・メニューを開発する事業者等へ開発費用を助成し、「かなんブランド」として認定することで、地域の特色発信を進めます。

(主要施策)

- かなんブランドの商品開発促進

- 6次産業化を行う企業・団体数(農水省/六次産業化法に基づく総合化事業計画認定件数)
1件(H24)→2件

- かなんブランド商品開発支援補助金の活用件数
2件→3件

②産官学等との連携による持続可能なまちの元気づくり <全体像>

- 働く場づくりや地域経済の活性化を促進するため、産官学等の関係機関と連携を深めます。

施策の柱と主たる取り組み

数値目標

(2)-②-1
働く場づくりの促進

【商工会等との連携】
【都市計画の見直し】

新設事業所数
19事業所
(H24～26平均)→
21事業所
(H29～31平均)

従業者数
5,279人→5,800人

主たる取り組みの概要

KPI

(2)-②-1 働く場づくりの促進

【商工会等との連携】

- 町の商工関係者組織を充実するなど、商工会等の関係機関との連携を強化し、町内の経済活動活性化を図るとともに、IT企業等の立地を促進します。

(主要施策)

- 地域資源を活かした起業支援やIT企業等の立地促進

【都市計画の見直し】

- 既存市街地では引き続き良好な住環境確保や都市基盤整備に努めるとともに、新たな起業・企業立地ニーズに対応できるよう都市計画の基準緩和を促進します。また、空き家の利活用を推進します。

(主要施策)

- 市街化調整区域の地区計画の見直し

□ 新設事業所数

19事業所(H24～
26平均)
→21事業所(H29
～31平均)

(再掲)

(3)「笑顔 いきいき」かなん

①人々がつながり、多様な世代が交流・活躍できる地域づくり <全体像>

- 多様な世代が活躍できるよう、働く場・生きがいづくりに取り組むとともに、まちづくりの主役である住民が輝ける協働のまちづくりを進めます。
- 若者や子育て世代をはじめとする多様な世代の移住及び多世代同居を促進します。

施策の柱と主たる取り組み

数値目標

(3)-①-1
すべての人が輝ける
働く場、集う場づくり

【元気な高齢者・障がい者等の活動支援の充実】
【地域の交流ステーションづくりの推進】

(3)-①-2
I・J・Uターンなどの
移住促進

【移住者向け住宅行政の推進】
【就農支援の充実】

(3)-①-3
協働のまちづくりの
推進

【かなんまちづくり基本条例の普及啓発】
【協働によるまちおこしイベント開催の支援】

転入者数
476人→524人

主たる取り組みの概要

KPI

(3)-①-1

すべての人が輝ける働く場、集う場づくり

【元気な高齢者・障がい者等の活動支援の充実】

- 河南町地域福祉計画等に基づき、介護保険サービスの充実や社会福祉協議会への助成等を通じて高齢者・障がい者等が元気に生きがいをもって日常生活を送れる福祉のまちづくりを進めます。

(主要施策)

- 高齢者の生きがいと健康づくりの推進
- 地域での介護予防活動の支援
- 社会福祉協議会や障がい者の活動等への支援

【地域の交流ステーションづくりの推進】

- 生涯学習の推進や町郷土行事等を通じた地域のつながりの強化を図ります。

(主要施策)

- 生涯学習の推進や町の郷土行事への助成等による交流促進
- 公共施設等を有効活用した交流の場づくり

□ 高年者人材センター
一延従業者数
4,408人→5,730人

□ 普段の生活での介護・介助が必要ない人の割合
22.6%→30%

主たる取り組みの概要

KPI

(3)-①-2 I・J・Uターンなどの 移住促進

【移住者向け住宅行政の推進】

- I・J・Uターン等による移住希望者を支援するための住宅行政を推進します。

(主要施策)

- 大宝地区の最低敷地面積の緩和
- 市街化調整区域における戸建て住宅開発の基準緩和
- 空き家の利活用の促進

【就農支援の充実】

- 農業を生業とすることを希望する青年や退職後の就農希望者等を応援する取り組みを進めます。

(主要施策)

- 青年就農給付金事業の推進
- 退職者等の就農支援の推進

- 青年就農給付金
交付事業件数

2件→3件

- 農業専従者の平
均年齢

68.4歳(H22)

→68歳(H32)

- 農産物販売金額

65,750万円(H22)

→72,000万円(H32)

- 生産年齢人口の
転入者数

326人→359人

主たる取り組みの概要

KPI

(3)-①-3 協働のまちづくりの推進

【かなんまちづくり基本条例の普及啓発】

- 住民が主役となるまちづくりを実現していくための基本的な考え方やルールなどを定めた「かなんまちづくり基本条例」を普及啓発し、NPO等の活動を支援するなど、誰もが住みたいと思うまちの実現をめざします。

(主要施策)

- かなんまちづくり基本条例の普及啓発
- NPOなどの設立や活動の支援

【協働によるまちおこしイベント開催の支援】

- 住民が主体となって町の魅力を内外に発信するまちおこしイベントの開催を支援します。

(主要施策)

- かなんフェスやかなん桜まつり等のまちおこしイベント開催支援

□ NPO法人数

7法人→10法人

②住み続けたいと思える安全・安心・安住のまちづくり <全体像>

- 住んでいてよかった・住み続けたいと思える「防災・防犯No.1」のまちをめざします。
- 保健・医療が充実し、安心して暮らせるまちづくりを進めます。

施策の柱と主たる取り組み

(3)-②-1
防災・減災等の取組
強化

【災害時の危機管理の充実】
【防災意識の向上】
【防犯力強化の推進】

(3)-②-2
保健・医療の充実

【健康教育やスポーツ活動支援の推進】
【予防医療の充実】

数値目標

犯罪認知件数
128件→115件

1人あたりの医療費
(国保)
327,278円→300,000円

1人あたりの医療費
(後期高齢者医療)
894,999円→850,000円

健康寿命
○歳 → ●歳

主たる取り組みの概要

KPI

(3)-②-1 防災・減災等の 取組強化

【災害時の危機管理の充実】

- 突発的な災害発生時にも住民の生命・身体・財産等を守ることができるよう災害協定の強化、橋りょうの長寿命化、治山・治水対策の推進等に努めます。

(主要施策)

- 災害協定の強化、治山・治水対策等の防災・減災対策の推進
- 橋りょう長寿命化・上水道施設の耐震化の推進
- 民間建築物の耐震化促進

【防災意識の向上】

- 地域の安全を守る消防団や自主防災組織の活動を支援するとともに、ファイアレディ・ファイアジュニア・ファイアチャイルド等の活動を通じて住民の防災意識向上に努めます。

(主要施策)

- 消防団や自主防災組織の活動支援
- 多様な世代が参加する活動による防災意識の啓発

【防犯力強化の推進】

- 地域の防犯力を高めるため、防犯ボランティア団体の育成を継続するとともに、地域との協力により防犯カメラの設置を進め、防犯力の強化を図ります。

(主要施策)

- 地域防犯ボランティア団体の育成
- 防犯カメラの設置

□ 自主防災組織結成率
98%→100%

□ 災害協定締結件数
22件→25件

□ 犯罪認知件数
128件→115件
(再掲)

主たる取り組みの概要

KPI

(3)-②-2 保健・医療の 充実

【健康教育やスポーツ活動支援の推進】

- 「自らの健康を自ら守る健康づくり」をモットーに、各種健康事業の一層の充実、スポーツ活動の支援を推進します。

(主要施策)

- 健康マイレージ事業
- 健康教育・健康相談事業(各種健康教室の実施)
- 地域での介護予防活動の支援(再掲)

【予防医療の充実】

- 特定健診項目以外の健康診査やがん検診、各種予防接種等を推進し、予防重視の保健・医療充実を図ります。

(主要施策)

- 予防接種の実施
- 健康診査の実施や人間ドック(簡易)検診の助成

□ 特定健康診査受診率
42%→60%

□ 健康マイレージ事業
への参加者数
0人→1,000人

□ 要介護認定者の割合
18.7%→21.9%

(4)「都会 きらきら」かなん

①大都市近郊の利便性と快適な都市整備基盤を備えたまちづくり <全体像>

- 大都市近郊としての利便性を最大限に活かすため、快適な道路等のインフラ整備や地域公共交通の充実を図ります。

施策の柱と主たる取り組み

数値目標

(4)-①-1
交通網整備に向けた
長期的取り組み

【交通インフラ等の整備促進】
【地域公共交通の充実】

(4)-①-2
都市的利便性の充
実

【公共的スペースの利便性向上の促進】
【上下水道施設整備の充実】
【商工業の活性化】
【都市計画の見直し】(再掲)

転出者数
491人→442人

主たる取り組みの概要

KPI

(4)-①-1 交通網整備に 向けた 長期的取り組み

【交通インフラ等の整備促進】

- 集落間を結ぶ生活関連道路の充実のみならず、経済活動や地域活性化の基盤となる高規格幹線道路・広域幹線道路の整備促進に取り組みます。

(主要施策)

- 高規格幹線道路・広域幹線道路の整備促進

【地域公共交通の充実】

- 鉄道駅のない本町にとって重要な役割を果たす路線バス等の地域公共交通の充実を図ります。また、民間事業者の協力による鉄軌道など新たな交通インフラ整備の可能性を調査・研究します。

(主要施策)

- 地域公共交通の充実
- 新たな交通インフラ整備に関する調査・研究や実現に向けたト
ップセールス

□ コミュニティバス
等利用者数
9,847人→28,000人

主たる取り組みの概要

KPI

(4)-①-2 都市的利便性の 充実

【公共的スペースの利便性向上の促進】

- 観光拠点等において、Wi-Fiスポットの設置を促進するなど、公共的スペースの利便性向上に取り組みます。

(主要施策)

- 道の駅かなん等へのWi-Fiスポットの設置促進

【上下水道施設整備の充実】

- 生活に不可欠な水道水の安定供給や下水道の整備による快適な生活基盤の確保に取り組みます。

(主要施策)

- 河南町水道事業ビジョンの推進
- 下水道の整備及び長寿命化の推進

【商工業の活性化】

- 食料品や衣類、日用品等を身近に購入できる町内商店の活性化を図るとともに、新たな商業施設等の立地誘導に努めます。

(主要施策)

- 商業施設等の立地誘導

【都市計画の見直し】(再掲)

- 既存市街地では引き続き良好な住環境確保や都市基盤整備に努めるとともに、新たな起業・企業立地ニーズに対応できるよう都市計画の基準緩和を促進します。また、空き家の利活用を推進します。

(主要施策)

- 市街化調整区域の地区計画の見直し

□ 公共施設でのWi-Fi設置箇所数

0箇所→1箇所

□ 下水道人口普及率
90.2%→95.0%

□ 年間商品販売額
5,969百万円
→6,566百万円

②効率的・機能的なまちづくりの推進

- 公共施設等の有効なストック活用を図ります。
- マイナンバー制度が創設され、今後、一層進展することが予想される情報化社会に対応するため、行政情報システムの効率化を図ります。

施策の柱と主たる取り組み

数値目標

(4)-②-1

公共施設再編整備基本計画案の着実な執行

【公共施設の再編に向けた取組の推進】

(4)-②-2

情報化の推進による利便性の向上

【行政情報システムの効率化】

経常収支比率
93.2%→92.0%

主たる取り組みの概要

KPI

4)-②-1 公共施設再編整備基本計画案の 着実な執行

【公共施設の再編に向けた取り組みの推進】

- 少子高齢化の進展にともなう人口減少社会の到来に備え、既存ストックの有効活用とコンパクトで効率的なまちづくりを実現するため、公共施設再編整備基本計画案の着実な執行を進めます。
(主要施策)
 - 公共施設再編整備基本計画案の実行

□ 公共施設の延床面積
70,109㎡
→67,567㎡

(4)-②-2 情報化の推進による 利便性の向上

【行政情報システムの効率化】

- 情報化社会における利便性向上のため、マイナンバー対応を進めるとともに、行政情報システムのクラウド化を推進します。
(主要施策)
 - マイナンバー対応やクラウド化の推進
 - 道の駅かなん等へのWi-Fiスポットの設置促進(再掲)

□ 行政機関におけるクラウドサービスの導入システム数
3件→23件

(5) 「田舎 わくわく」かなん

①自然の豊かさを実感し、訪れてよかった・住んでみたいと思えるまちづくり

- 訪れた人々の心を和ませる美しい自然を守りつつ、地域資源として積極的に活用します。
- 優れた環境を活かし、農業体験や農産物を通じた観光の魅力づくりを促進します。

施策の柱と主たる取り組み

数値目標

(5)-①-1

桜の景観、自然を活かしたまちづくり

【「さくらのまちNo.1」の取り組みの推進】

(5)-①-2

歴史ツアー、観光ルートの充実

【魅力的な観光ルートの充実】

(5)-①-3

自然を活かした魅力創出の促進

【みどりを活かしたレクリエーションの促進】

(5)-①-4

農の魅力を活かした交流促進

【農業体験及び就農希望者の活動支援の充実】

休日の滞在人口率
1.76倍→2.0倍

主たる取り組みの概要

KPI

(5)-①-1 桜の景観、自然 を活かしたまち づくり

【「さくらのまちNo.1」の取り組みの推進】

- さくらは町の大切な観光資源であることから、かなん桜プロジェクトの推進等を通じて「さくらのまちNo.1」をめざします。

(主要施策)

- かなん桜プロジェクトの推進
- かなん桜まつりの開催支援

□ 桜植樹本数

4,400本→5,400本

(5)-①-2 歴史ツアー、観 光ルートの充実

【魅力的な観光ルートの充実】

- 日本最大の双円墳である金山古墳や古墳時代に特化した近つ飛鳥博物館をはじめとする歴史資源や美しい山なみからなる登山ルートなど、町の特色ある資源を活かした観光ルートの整備に取り組み、新たな観光需要を生み出します。

(主要施策)

- 観光案内サインの設置を推進
- 岩橋山周辺の登山ルート整備などの観光資源の発掘

□ 観光案内看板の 新設件数

8件→45件(H29)

□ 休日(14時)の滞在 人口

16,100人→18,000人

□ 町ホームページ 「観光ガイド」閲覧 件数

43,000件→50,000件

主たる取り組みの概要

KPI

(5)-①-3 自然を活かした 魅力創出の促進

【みどりを活かしたレクリエーションの促進】

- 大都市近郊にありながら豊かな自然に囲まれている地の利を活かし、みどりでレクリエーションを楽しむことができる施設の立地誘導に努めるほか、企業との連携のもと、アドプトフォレスト活動の促進を図ります。

(主要施策)

- 自然を活用したレジャー施設の立地誘導
- アドプトフォレスト活動の促進

□ アドプトフォレスト
活動件数
1件→2件

(5)-①-4 農の魅力を活か した交流促進

【農業体験及び就農希望者の活動支援の充実】

- 農業を1次産業としての側面だけではなく、都市住民との交流の場としてとらえ、体験型ツーリズムの促進や就農希望者の支援に努めます。

(主要施策)

- 青年就農給付金事業(再掲)
- 農業体験の促進

□ 青年就農給付金交付事
業件数
2件→3件(再掲)

□ 道の駅かなんの販売額
3億4,783万円→4億円

□ 道の駅かなんの利用者
数(レジ通過者数)
306千人→358千人

□ 農産物販売金額
65,750万円→72,000万円

②美しい景観を維持する自然調和型まちづくり

- 金剛・葛城山系のみどり豊かな景観や田畑などの美しい田園風景を維持するため、自然環境に配慮したまちづくりを推進します。

施策の柱と主たる取り組み	数値目標
(5)-②-1 地域魅力の創出に向けた景観整備	可燃ごみ1人1日当たり排出量 621g→617g(H32)
(5)-②-2 美しいまちと資源循環型社会の形成	

【魅力的な景観創出の推進】

【美しいまちづくりの推進】
【資源循環型社会の形成と地球温暖化防止対策の推進】

主たる取り組みの概要

KPI

(5)-②-1 地域魅力の創出 に向けた景観整備

【魅力的な景観創出の推進】

- 美しい山々や豊かな田園風景、心落ち着く歴史文化的景観に囲まれた町の魅力に一層の磨きをかけるため、景観形成方針策定に向け審議を続け、電線地中化やシンボルロード整備の検討を行います。

(主要施策)

- 景観条例の制定に向けた検討
- 電線地中化やシンボルロード整備の検討
- 山桜による桜山の創出

□ 桜植樹本数

4,400本→5,400本

(再掲)

主たる取り組みの概要

KPI

(5)-②-2 美しいまちと資源循環型社会の形成

【美しいまちづくりの推進】

- 美しい河南町基本条例が掲げる「美しい山々がそびえ 美しい川が流れ 美しい心が集うまち」を築くため、啓発活動を推進します。

(主要施策)

- 美しい河南町基本条例の推進
- アドプトロードの参加促進

【資源循環型社会の形成と地球温暖化防止対策の推進】

- 資源循環型社会の形成のため、廃棄物の減量や資源リサイクルを促進するとともに、太陽光などの自然エネルギーの有効活用による地球温暖化防止対策を推進します。

(主要施策)

- 公共施設、住宅の屋根やため池などを活用した太陽光発電の推進
- 地球温暖化防止・環境保全に関する啓発事業
- ごみの減量化や資源リサイクル等の取り組み促進

□ アドプトロード実施団体数
0団体→1団体

□ 住宅用太陽光発電システム設置費補助件数
33件→35件

(6)「どきどき 発信」かなん

①河南町の魅力を絶えず発信し、世界とつながるまちづくり

- 多様なメディアを活用し、積極的にシティセールスに取り組みます。
- 道の駅かなんやSNSなどを通して地域間・世代間交流を促進します。
- 観光などのジャンルで、広域的な連携のもと地域の魅力づくり・魅力発信に努めます。

施策の柱と主たる取り組み

数値目標

(6)-①-1

民間のノウハウを活用した広報広聴の充実

【民間のノウハウを活用したメディア戦略の推進】
【大阪芸術大学との連携による広報活動の充実】

(6)-①-2

「河南町のカナちゃん」を活用した親しみやすい町のイメージ戦略

【カナちゃんの活用推進】

(6)-①-3

シティセールスや施策のPRの推進

【シティセールス・施策のPR推進】

(6)-①-4

魅力創出・発信による交流促進

【魅力発信と交流促進による好循環創出】
【広域連携による地域の魅力創出・発信の推進】

検索エンジンの「河南町」ヒット数
871,000件(H27)
→1,000,000件

行政視察受入件数
0件→5件

主たる取り組みの概要

KPI

(6)-①-1 民間のノウハウ を活用した広報 広聴の充実

【民間のノウハウを活用したメディア戦略の推進】

- 広報紙の発行やホームページでの情報発信のみならず、SNS等の新たなメディアを活用し、双方向性のある広報広聴活動を推進します。

(主要施策)

- ホームページによる情報発信やSNSの活用
- 町政モニター制度の推進

【大阪芸術大学との連携による広報活動の充実】

- 大阪芸術大学と連携し、学生のアイデアを活かした広報活動の充実化を図ります。

(主要施策)

- 学生のアイデアを活用した広報活動の充実

□ 町情報発信

facebook(開設後)の「いいね」件数
0件→1,000件

□ 町ホームページの年間閲覧件数
3,115,341件
→3,500,000件

主たる取り組みの概要

KPI

(6)-①-2

「河南町のカナちゃん」を活用した親しみやすい町のイメージ戦略

【カナちゃんの活用推進】

- 「河南町のカナちゃん」を町のPRキャラクターとして積極的に活用し、親しみやすい町のイメージ戦略を展開します。

(主要施策)

- カナちゃん着ぐるみの活用
- カナちゃんのキャラクターグッズの開発と啓発等での活用

□ LINEスタンプ販売数(累計)
0件→3,000件

(6)-①-3

シティセールスや施策のPRの推進

【シティセールス・施策のPR推進】

- さまざまな制度を活用した積極的なシティセールスによって、町の魅力を内外に発信します。

(主要施策)

- ふるさと納税制度を活用した町の特産品のシティセールス
- 町ガイドマップの作成
- オリジナルナンバープレートの作成・普及

□ ふるさと納税による地域経済貢献額
0円→4千万円

□ かなナビダウンロード件数
435件→480件

□ オリジナルナンバープレート交付総数
0件→725件

主たる取り組みの概要

KPI

(6)-①-4 魅力創出・発信 による交流促進

【魅力発信と交流促進による好循環創出】

- 町の魅力を発信することで観光需要等を生み出し、町を訪れた人々による再度の情報発信により、更なる観光需要等を生み出す好循環を創出します。

(主要施策)

- かなんフェスやかなん桜まつり等のまちづくりイベントの開催支援
- 観光情報を発信する拠点整備(再掲)

【広域連携による地域の魅力創出・発信の推進】

- 相乗効果やスケールメリットを期待して、町のみならず、南河内地域や大阪府内エリアの歴史資源や道の駅、ダイヤモンドトレール等を活用したツーリズム企画を検討します。

(主要施策)

- 町内外の地域資源をつなぐツーリズム企画の検討

□ 「道の駅かなん大阪産友の会」会員数

206人→300人

□ かなんフェス参加者数

3,000人→4,000人

□ 富田林市・河内長野市・大阪狭山市・太子町・河南町・千早赤阪村の休日滞在人口

552,600人

→600,000人